



さいとう じゅん 齊藤 淳 J PREP 齊藤塾代表。上智大学外国語学部英語学科卒業、イェール大学大学院博士課程修了、Ph D。



たむら けんじ 田村 敦 東京大学大学院・ウェールズ大学大学院の修士課程を修了。医学部専門予備校などの講師を経て J PREP 齊藤塾講師



なかむら かずよし 中村 和義 オクラホマ大学で物理学を専攻した後、英米文学に転向。35年にわたり医学部専門予備校などで講師を務めて J PREP 齊藤塾講師



やべ まり 矢部 真理 高校時代北ヒューストンで学ぶ。国際基督教大学を卒業後、翻訳、通訳、医学部専門予備校などの講師を経て J PREP 齊藤塾講師



わたなべ だいき 渡邊 大貴 高校時代には交換留学でニュージランドへ。順天堂大学医学部（現4年）で学びながら、J PREP 齊藤塾のTAを務める

矢部 そうですね。日本人は英語で発信する能力があまりに乏しいように思います。それは、英作文に力を入れている教育機関が少ないからでしょう。その点、J PREP は珍しい存在だと思います。 齊藤 コミュニケーション能力という、話すことばかりが目立っていますが、そのベースになっているのは、考えを構成し、論理を組み立てる力。いわば5技能目にあたる力です。だから、じっくり考えて書くことを身につけず、瞬発的に話すだけだと支離滅裂な内容になってしまいがちです。 J PREP が英作文に力を入れているのも、そうした理由によるものです。 矢部 私も今までいろいろな予備校の採用試験を受けましたが、J PREP ではスピーキングや文法の試験だけでなく、英文エッセイを書いて高得点を取らないと採用されない点に驚きました。私はアメリカの高校で学んだので、当時、高校で叩き込まれた5パラグラフ・エッセイの書き方が役立つたんですよ。きちんとしたパラグラフ・ライティングをしないと、文法は正しくても、何を言いたいのかわからない文章になります。英文執筆の基本的作法で

矢部 試験の点数に結びつきやすい文法と違い、作文や発音は教えない、あ

田村 もう一つ、私が J PREP の魅力の一つだと思うのは、単に読む技法を教えるのではなく、歴史や生物な

information J PREP 渋谷校 2校舎目開校 入塾説明会のご案内 J PREPでは入塾待ちの生徒の皆様のご要望に後押しされ、2016年7月に渋谷に2校舎目を開校します。英語を学ぶより良い環境を整えて、海外留学、東大や医学部受験のいずれでも万全な指導を行います。ご興味のある方はぜひ入塾説明会へお越しください。 日程 6/25 (土) 6/26 (日) ※詳細はホームページをご覧ください。



ネイティブ講師と日本人講師によるチームティーチングの一コマ。チームとなって生徒の5技能を鍛える。

矢部 ですが、日本では大学でさえ、しっかりと教えられるっていません。 J PREP の場合は、中学生に基礎から教えているので、卒業生が将来、研修医として海外に行ったとしても、英語でメモを取るから英文での論文執筆まで困ることはないでしょう。

矢部 私は35年に渡り医学部専門予備校などで教えてきましたが、従来型予備校で教える英語は、文法・訳読に偏重しており、疑問を持っていました。また、向上心に満ちあふれる生徒ばかりとは限りません。医学部に合格すると、もう英語を学ばなくなる生徒もいました。その一方で、意欲はあるのに、本物の英語をどこに行っても勉強したらいいのかわからずにいる生徒もいます。私たちが J PREP が、その受け皿になりたいと思います。医師になって社会に貢献したいという志を持つ人が、医学部に合格し、医師として最先端の場で活躍できる英語力を身につけられるプログラムを提供するのが、教育者としてあるべき姿だと思っております。

渡邊 J PREPでの学びは、受験でも確実に生きてくると思います。さらに、中高生のみならずには、目前に迫った受験だけでなく、将来どのような医師になりたいのかも視野に入れた上で英語を学んで欲しいです。自分もそうですが、医師は一生学ぶ仕事だと思っています。学ぶ喜びも、 J PREP で知ってほしいですね。

矢部 医師には臨床医と研究医がありますが、キャリアとしてどちらを選択しても、最先端の場で活躍するならば英語力は不可欠です。でも、それを分かっていない方が意外と多い。研究医なら、論文執筆や学会発表は英語でなければなりません。臨床医も、大病院の医師なら海外研修の機会があります。私は通算で14年間アメリカの大学に籍を置いていましたが、その間、語学力で苦労している日本人医療関係者をたくさん見てきました。ですから、医学部を目指す皆さんは、アカデミック、かつ使える英語を高校生の間に習得してほしいと思います。

渡邊 私は医学部の4年生ですが、将来は国際的な医療組織に入り、海外の困っている人を助けたいと思います。医師を目指しました。また、大病院に勤務する場合も、海外研修の機会があるので、やはり英語力は欠かせません。そこで、高2の1年間、ニュージランドに留学したのです。

田村 現在はさまざまな国が国家戦略として医学に力を入れているため、医学の進歩は年々そのスピードを増しています。研究発表の場は、ほとんどが英文の専門誌ですから、それが読めなければ最先端の医学をフォローできません。また、日本社会はこれからはますますグローバル化し、日本人が海外に出ていくだけでなく、海外からもどんどん入ってきます。外国人も日本の病院に来るわけですから、英語でコミュニケーションができることが、今後とりわけ重要になっていきます。

矢部 医師としての将来を、真剣に考えるからこそ、発音と英作文を重点指導

田村 現在さまざまな国が国家戦略として医学に力を入れているため、医学の進歩は年々そのスピードを増しています。研究発表の場は、ほとんどが英文の専門誌ですから、それが読めなければ最先端の医学をフォローできません。また、日本社会はこれからはますますグローバル化し、日本人が海外に出ていくだけでなく、海外からもどんどん入ってきます。外国人も日本の病院に来るわけですから、英語でコミュニケーションができることが、今後とりわけ重要になっていきます。

矢部 医師としての将来を、真剣に考えるからこそ、発音と英作文を重点指導

田村 現在さまざまな国が国家戦略として医学に力を入れているため、医学の進歩は年々そのスピードを増しています。研究発表の場は、ほとんどが英文の専門誌ですから、それが読めなければ最先端の医学をフォローできません。また、日本社会はこれからはますますグローバル化し、日本人が海外に出ていくだけでなく、海外からもどんどん入ってきます。外国人も日本の病院に来るわけですから、英語でコミュニケーションができることが、今後とりわけ重要になっていきます。

田村 現在さまざまな国が国家戦略として医学に力を入れているため、医学の進歩は年々そのスピードを増しています。研究発表の場は、ほとんどが英文の専門誌ですから、それが読めなければ最先端の医学をフォローできません。また、日本社会はこれからはますますグローバル化し、日本人が海外に出ていくだけでなく、海外からもどんどん入ってきます。外国人も日本の病院に来るわけですから、英語でコミュニケーションができることが、今後とりわけ重要になっていきます。



既存の塾・予備校とは一線を画した J PREP 齊藤塾の『英語5技能修得の秘訣』

ここ数年で入塾希望者が急増している英語塾を、ご存知だろうか。今年度も2月時点で全クラスが満席となるこの「J PREP 齊藤塾」という塾は、講師のほぼ全員が留学経験者で高度に知的な英語を話し、書くことができる。各クラスは登録定員20名以下に抑えられ、きめ細やかな指導が生徒・保護者の支持を集めている。今回は、J PREP 代表齊藤淳氏に加え、講師陣と現役医学部生のTA（ティーチング・アシスタント）の5名が集まってもらい、2020年の大学入試改革、医療のグローバル化について語り合ってもらった。そこには医師として必要な英語運用能力として、英語5技能というキーワードが浮かび上がってきた。



ネイティブ講師が担当するディスカッションの様子。巧みな話術で生徒が自然と笑顔になり積極的に英語で発信する環境にある。